

日本農芸化学会2020年度大会 ランチョンセミナーのご案内

LS-1-5 LC・LC/MS最新分析ソリューションご紹介 ～培養モリタリング／発酵モニタリング～

日時

2020年3月26日(木) 12:30～13:20

会場

A21 (九州大学 伊都キャンパス センター2号館4F 教室番号2406)

講演1

誰でも!簡単に!培養上清成分の高速一斉分析!

黒田 博隆 (株式会社島津製作所)

培養上清には糖、アミノ酸、ビタミン、核酸関連物質、有機酸などの培地成分や、細胞、酵母、大腸菌等の培養対象から分泌される代謝物といった多様な成分が含まれます。従来、培養上清成分の分析は化合物群毎に手法を変えて実施され、非常に手間がかかりました。

この度、この課題を解決すべく、培地成分／分泌代謝物から成る125成分を20分以内に一斉分析できる手法を開発しましたので、その手法と応用例についてご紹介いたします。

講演2

デュアルインジェクション機能による 多角的データの一元管理と分析業務の効率化

松本 恵子 (株式会社島津製作所)

デュアルインジェクション機能は超高速液体クロマトグラフNexeraシリーズのユニークなオプション機能です。全く異なる2種の化合物群の定量が必要などの理由で、異なる分析条件で2回分析が必要になるケースがあります。デュアルインジェクションシステムは、独立した2流路を1つのプラットフォームに搭載し、2種類の異なる条件のクロマトグラムを同時に採取します。

微生物の代謝物である有機酸や糖を同時に測定する発酵モニタリングを取り上げ、分析効率を大きく改善した事例をご紹介します。

司会：岡本 真美 (株式会社島津製作所)

お問合せ

(株)島津製作所 分析計測事業部 グローバルマーケティング部
〒604-8511 京都市中京区西ノ京桑原町1 TEL:075-823-1352